平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名　クニミネ工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　5388　URL　http://www.kunimine.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 國峯　保彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長　(氏名) 川島　利昭　TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日　平成25年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,318	3.6	945	9.7	1,115	14.9	718	21.1
24年3月期第3四半期	8,029	1.4	862	22.8	970	17.7	593	19.5

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　762百万円　(28.5%)　24年3月期第3四半期　593百万円　(22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	58.68	―
24年3月期第3四半期	48.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,010	10,807	76.5
24年3月期	13,602	10,228	74.6

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　10,717百万円　24年3月期　10,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	15.00	15.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,109	△1.5	1,017	△18.3	1,147	△18.3	690	△20.1	56.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 1「1. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	14,450,000 株	24年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,206,518 株	24年3月期	2,206,518 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	12,243,482 株	24年3月期3Q	12,245,004 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 1「2. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目次

１．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
２．連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
３．連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
４．連結財務諸表等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
(5) セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７

１．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 8,722千円増加しております

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

２．連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成24年５月11日に発表した業績予想を修正せず据え置いております。当第３四半期連結累計期間における業績は堅調に推移しておりますが、主納入先である自動車業界においてエコカー補助金の終了に伴う反動減が見られる等当社グループを取りまく環境が一段と厳しくなってきており、その影響等取りまとめているところであります。通期業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。

３．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要に支えられ緩やかに回復を続けていましたが、欧州だけでなく中国を中心に新興国経済も減速し輸出が減少、堅調だった個人消費も補助金などの政策効果が一巡し弱含みとなり、景気は後退局面入りとなりました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、国内自動車生産台数が震災の影響からの回復やエコカー補助金効果の反動減が始まっているものの、土木建築業界において、住宅投資が被災住宅の再建などを背景に持ち直しの動きが続く他震災関連工事も動いており、全体としては堅調に推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込みを継続して推進するとともに、前期に取得した郡山工場の活用等、売上高および利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、採算性の高いアグリ事業部門や化成品事業部門で前期にあった震災による繰越需要がなくなった他、前期１月に取得した郡山工場の固定費増加分を賄うだけの生産受注がなかったものの、主力のベントナイト事業部門のうち土木建築関係の好調に支えられ、売上高は83億18百万円（前年同期比 3.6%増）、営業利益は９億45百万円（同 9.7%増）となりました。経常利益につきましては、米国子会社における出資先からの配当収入が伸びたこと等により11億15百万円（同14.9%増）となり、四半期純利益につきましても、前期にあった「東日本大震災」や「平成23年７月新潟・福島豪雨」に伴う災害による損失40百万円がなくなったこと等により、７億18百万円（同21.1%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、主納入先である自動車業界において、国内の生産台数が震災の影響のあった前期から一転エコカー補助金等の政策効果も加わった大幅増から終了に伴う反動減が始まっており、建機等においても、復興関連の国内向け等好調なものの中国に加えその他の新興国や資源国向けの輸出が減速しており、ほぼ横這いとなりました。土木建築関係は、廃棄物処分場向けや護岸工事、防潮堤工事等の震災関連の需要を取り込むことができた他地熱関係の需要が動き出したこと等により、大幅な増収となりました。ペット関係は、一部ＯＥＭ品の取扱が減少したこと等から、大幅な減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は57億37百万円（前年同期比 7.6%増）、セグメント利益は８億32百万円（同16.3%増）となりました。

② アグリ事業

主力の溶出制御剤はほぼ横這いで推移、既存殺虫剤が大幅に落ち込み、郡山工場の取得により除草剤の受注が増加したものの、震災の影響により除草剤等の生産が繰り越され増収となった前年同期の反動もあり、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は15億77百万円（同 5.9%減）、セグメント利益は２億37百万円（同29.9%減）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアが吸着用輸出向け・農薬用ともに、前期の震災による繰越需要がなくなったこと等により減収となり、止水材が止まっていたマンション案件が徐々に動き出したこと等により増収、環境保全処理剤が厳しい競争の中採算性の確保に努めてほぼ横這いとなりましたが、全体として減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は９億85百万円（同 2.2%減）、セグメント利益は１億54百万円（同16.2%増）となりました。

④ 環境事業

環境関連プラントの運営受託業務の他、関連する設備対応について売上計上でき増収となりましたが、現在、当社固有技術を活かした放射能汚染灰の処理技術の確立に努めるとともに、除染廃棄物対応への取り組みを強化、体制を拡充しており、これらを補うには至りませんでした。

この結果、当セグメントの売上高は18百万円（同13.5%増）、セグメント損失は33百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,865	2,605,501
受取手形及び売掛金	3,842,927	3,723,275
商品及び製品	284,021	369,455
仕掛品	229,162	285,715
原材料及び貯蔵品	1,220,806	1,350,207
その他	161,824	107,452
貸倒引当金	△8,400	△7,568
流動資産合計	8,004,207	8,434,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,413,722	1,392,354
機械装置及び運搬具（純額）	816,756	901,242
土地	1,777,880	1,778,254
リース資産（純額）	98,064	76,325
その他（純額）	105,135	74,683
有形固定資産合計	4,211,559	4,222,860
無形固定資産	133,238	141,539
投資その他の資産	1,253,618	1,212,006
固定資産合計	5,598,417	5,576,406
資産合計	13,602,624	14,010,446
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	779,294	886,167
短期借入金	182,000	332,000
未払法人税等	398,404	214,735
賞与引当金	143,470	63,423
その他	582,752	591,442
流動負債合計	2,085,921	2,087,768
固定負債		
長期借入金	281,300	144,800
退職給付引当金	8,410	8,171
閉山費用引当金	474,198	478,361
環境対策引当金	2,825	2,225
負ののれん	55,127	13,781
資産除去債務	23,494	23,494
その他	442,788	444,149
固定負債合計	1,288,145	1,114,985
負債合計	3,374,066	3,202,754

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,223,224	2,223,224
利益剰余金	6,786,452	7,321,247
自己株式	△524,726	△524,726
株主資本合計	10,102,749	10,637,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,403	161,082
為替換算調整勘定	△80,237	△81,433
その他の包括利益累計額合計	50,166	79,649
少数株主持分	75,641	90,497
純資産合計	10,228,557	10,807,691
負債純資産合計	13,602,624	14,010,446

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	8,029,988	8,318,191
売上原価	5,303,830	5,496,716
売上総利益	2,726,157	2,821,474
販売費及び一般管理費	1,863,922	1,875,911
営業利益	862,235	945,563
営業外収益		
受取利息	690	485
受取配当金	62,554	96,514
負ののれん償却額	41,345	41,345
為替差益	－	11,812
貸倒引当金戻入額	10,335	2,101
その他	21,052	29,895
営業外収益合計	135,979	182,154
営業外費用		
支払利息	10,976	6,297
為替差損	10,478	－
コミットメントフィー	－	2,222
その他	5,833	3,431
営業外費用合計	27,288	11,951
経常利益	970,926	1,115,767
特別利益		
固定資産売却益	1,007	1,292
保険解約返戻金	－	21,579
収用補償金	－	1,795
特別利益合計	1,007	24,668
特別損失		
固定資産除却損	8,739	11,216
減損損失	－	28,254
災害による損失	40,540	－
投資有価証券評価損	－	1,133
特別損失合計	49,280	40,604
税金等調整前四半期純利益	922,653	1,099,831
法人税、住民税及び事業税	318,603	336,828
法人税等調整額	△17,894	29,221
法人税等合計	300,709	366,049
少数株主損益調整前四半期純利益	621,943	733,781
少数株主利益	28,615	15,334
四半期純利益	593,328	718,446

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	621,943	733,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,989	30,678
為替換算調整勘定	△30,528	△1,673
その他の包括利益合計	△28,539	29,005
四半期包括利益	593,404	762,787
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	573,511	747,930
少数株主に係る四半期包括利益	19,892	14,856

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
減価償却費	453,581千円	386,623千円
負ののれんの償却額	41,345千円	41,345千円

（5）セグメント情報等
〔セグメント情報〕
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,330,703	1,675,408	1,007,475	16,401	8,029,988	－	8,029,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	79,762	－	1,949	－	81,711	（△ 81,711）	－
計	5,410,465	1,675,408	1,009,425	16,401	8,111,699	（△ 81,711）	8,029,988
セグメント利益	715,771	338,375	132,792	△ 21,481	1,165,458	（△303,223）	862,235

（注）１．セグメント利益の調整額△ 303,223千円には、セグメント間取引消去 3,297千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 332,944千円及び棚卸資産の調整額26,423千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,737,406	1,577,170	985,003	18,610	8,318,191	－	8,318,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	52,113	－	1,465	－	53,578	（△ 53,578）	－
計	5,789,520	1,577,170	986,468	18,610	8,371,770	（△ 53,578）	8,318,191
セグメント利益	832,497	237,229	154,253	△ 33,900	1,190,079	（△244,515）	945,563

（注）１．セグメント利益の調整額△ 244,515千円には、セグメント間取引消去 641千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 322,414千円及び棚卸資産の調整額77,257千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。